

黒林義文 くろふじ ロシアの日本語教師。生没年不詳。江戸士族の家に生れる。明治五年ニコライ露學校に學び、翌年新設の東京外國語學校露語上等第1級に轉入、うち母校ロシア語講習助教授となる。十七年教職を退き、露文和譯、文部省の露和兒童編纂に従事。十九年ペテルブルグ大學日本語講師の職を得、家族を携いてウラジオストクに渡り、單身徒歩で六カ月のけてシベリヤ横斷。パテルブルグで洗禮を受けロシアに歸化。イオシフ・ニコライウイッチ・クロノと名乗つた。一九一六年（大正五年）までの二十年近い在職中、『露和通俗會話篇』(一八八九年・明治二十二年刊)等、日本語學習書を中心として、著譯書十數冊程があるといふ。一九一七、八年頃流行のコレラに被害、ペテログラード近郊で歿した。

パテルブルグ大學日本語講座の授業生は、のちの日本語者として名を擧げるコンラート、ネフスキー、エリセーエフ等がゐた。



黒林義文編纂
露和通俗會話篇
一八八八年
聖彼得堡發行